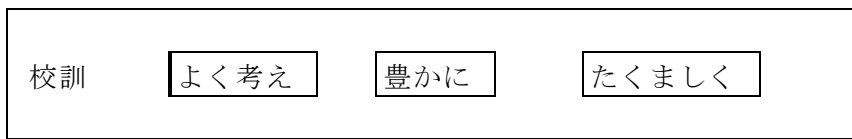
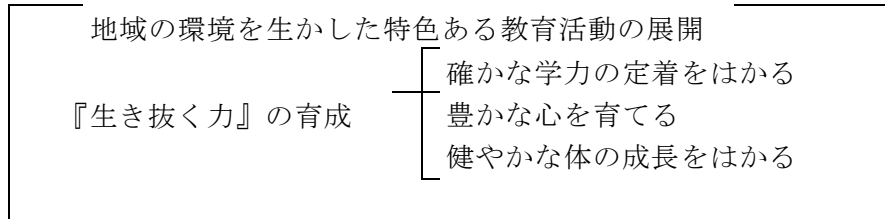


1 学校の教育目標



(1) 経営方針



(2) 重点努力目標

- ① 学習の基礎基本の定着
- ② 道徳教育を充実
- ③ 健全な心身の育成
- ④ 安全・安心な環境の整備

(3) 重点努力目標達成のための方策

- ① 基礎基本の徹底・・・「読む・書く・計算する」の基礎基本の徹底とあいさつ、返事、発言の仕方、聞く態度等の授業中のマナーを身につけさせる。また読書指導の充実と「まとめる」「表現する」などの言語活動に進んで取り組ませる。
- ② 総合的な学習の充実・・・地域の人材や環境を生かした体験的活動を行い、課題を見つけ、解決していこうとする探求的な能力や態度を育成する活動を通して、人との関わりを実践的に学ばせる。
- ③ 道徳授業の充実・・・道徳の授業を大切にし、生活に生きる道徳的な考え方や行動の仕方を身につけさせる。
- ④ 特別支援教育の充実・・・発達障害児とともに学び高めあう活動に進んで取り組ませる。
- ⑤ 人間力の育成・・・学校生活のあらゆる場面を通して、あいさつや協力、思いやり、責任と感謝などの人としてのあり方の基礎を育てる。
- ⑥ 安全教育の充実・・・安全教育を充実させ、あらゆる危険から身を守る方法を身につけさせる。

上記①～⑥までの目標を達成するために、教職員は、

- ① 適切な学習指導が行えるよう、常に指導力の向上のための研鑽に努める。
- ② 子どもたち一人ひとりに目と心が行き届いた教育活動を心がける。
- ③ 保護者や地域との連携を密にする。
- ④ 発達障害児の能力を的確に把握し、個に適した指導の方法や段階を研究し、特別支援のあり方を追求する。また通常学級の児童が、発達障害児に対する認識を高める教育活動を心がける。
- ⑤ 天災や人災への対応策を整備し、日頃から安全の点検や訓練を実施し、緊急時に備える。